

町民駅伝で優勝!  
中学生らとレースを楽しむ

9月28日、第28回葛巻町民駅伝継走大会に葛巻高校生の有志によるチームが出場しました。

5人のメンバーは他を圧倒する軽快な走りですきを繋ぎ優勝。キャプテンの四日市拓海さん(3年)は「第1走者の流れを最後まで繋ぐことができた。小中学生や大人と一緒に走るのとても楽しいので、来年はもっと葛巻生に参加して欲しい」と話していました。また、走り終えた後に中学生と握手を交わした金田響さん(1年)は「以前、試合で他の選手から握手を求められて嬉しかったので、一緒に走った中学生に声をかけた」と話し、町の大会ならではの心温まる交流をしたようでした。



(左から)金田響さん、山岸快梨さん、澤田稜介さん、四日市拓海さん、近藤優丞さん

女子バスケット部3×3  
県大会優勝、東日本大会へ



(左から)嵯峨菜央さん、折本莉奈さん、鈴木愛葉さん、山下茜さん

葛巻高校女子バスケットボール部のチーム「ORANGE PRIDE B」は10月1日、第9回3×3 U18日本選手権岩手県予選大会で優勝し、11月26日に群馬県で開催される東日本選手権エリア大会に出場することになりました。

チーム力を高めるために、マネージャーの作ってくれたおにぎりをいつも一緒に食べるなど、日頃のコミュニケーションを大切にしているという4人。キャプテンの鈴木愛葉さん(2年)は「東日本は強豪チームばかりの大会。一人ひとりの持ち味を生かして、最後までみんなで頑張ります」と力強く話していました。

今回は、イベント盛りだくさんなこの時期に行われた「葛巻祭」を紹介し、葛巻高校三大行事の一つである葛巻祭は、カフェや的当て、映画鑑賞やフォトスポットなど各クラスが思い思いの企画を立てて開催されます。今年はお家族の方のみという制限はありましたが、3年ぶりの公開となり校内は賑わいました。



中夜祭のステージ発表(円内)を楽しむ生徒たち

私のですはお化け屋敷を企画しました。会場の設営に開始時間ギリギリまでかかってしまい大忙しでしたが、体験した人から予想以上の悲鳴が聞こえたので頑張っていました。また、公開の前日に行われた「中夜祭」では、コンサート、ダンス、バンド、カラ

来年こそは制限なく

今年、イベント盛りだくさんなこの時期に行われた「葛巻祭」を紹介し、葛巻高校三大行事の一つである葛巻祭は、カフェや的当て、映画鑑賞やフォトスポットなど各クラスが思い思いの企画を立てて開催されます。今年はお家族の方のみという制限はありましたが、3年ぶりの公開となり校内は賑わいました。

オケなど有志の生徒によるステージ発表もあり、予想以上の盛り上がりを見せました。仲間の普段は見ることができない一面を見ることができてとてもおもしろかったです。



六角聖弥(2年)

今年はお家族の方のみという制限はありましたが、3年ぶりの公開となり校内は賑わいました。

高校生記者レポート



保護者の前で美しい歌声を披露する生徒たち(左)と、発表に聞き入る保護者の皆さん

葛巻祭が9月30日と10月1日の2日間にわたり開催されました。3年ぶりの公開(家族限定)となった1日には、保護者など約100人が来場。生徒が家族を案内したり、共にクラス展示を見学するなど楽しんでいました。体育館で行われた合唱や郷土芸能部の神楽の演舞、総合探究活動中間発表などでは、その様子を写真や動画に収める保護者も多く見られ、我が子の成長した姿や充実した高校生活を垣間見たようでした。また、同校PTAの母親委員も3年ぶりに参加。弁当販売の企画は盛況で、多くの生徒や家族が買い求め、葛巻祭を盛り上げていました。生徒会長の吉田侑芽さん(2年)は、「3年ぶりの公開で大変なこともありましたが、保護者や全校生徒の楽しそうな表情を見られて嬉しかったです」と話していました。



PTA母親委員による弁当販売



観客の厄払いをする郷土芸能部



書道の展示を見学する保護者

3年ぶりに公開  
保護者らと葛巻祭を楽しむ

町内企業ガイダンス開催



積極的に企業に質問する生徒たち

10月12日、「葛巻高校町内企業ガイダンス」(くずまき雇用サポートセンター主催)が開催され、1年生41人と町内企業など15団体が参加しました。各企業の担当者は、仕事の紹介のほか、インターンシップの受け入れや若手社員の支援体制などを説明。生徒からの「やりがいはどこなところか」「資格は必要か」などさまざまな質問に、丁寧に答えていました。同校卒業生でタカナシ乳業(株)岩手工場の大塚さん(土谷川)は「卒業後、一度は町外に出てほしい。町に戻りたいと思った時に、働く場所の候補として町内の職場を知っておくと良い」と後輩にアドバイスしていました。